

人類生態学教室年報 —2021・2022 年—  
Biannual Report of the Department of Human Ecology —2021/2022—

2023 年 7 月  
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室  
Department of Human Ecology, School of International Health,  
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

## 目次

教育活動（2021 年度・2022 年度） .....	2
学部講義 .....	2
学部実習 .....	8
大学院講義 .....	9
特別講義 .....	93
卒業論文 .....	114
修士論文 .....	125
博士論文 .....	136
研究業績（2021 年・2022 年） .....	147
原著論文 .....	147
単行本 .....	159
総説・資料・他 .....	17
学会発表 .....	17
受賞 .....	20
競争的資金の獲得 .....	20
教室員一覧（2021 年度・2022 年度） .....	226



人類生態学教室ウェブサイト  
<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/>

## 教育活動 (2021 年度・2022 年度)

### 学部講義

#### ヘルスサイエンス概論 (教養学部・前期課程)

##### 【2021 年度】

- 4 月 9 日 ガイダンス+ヘルス・サイエンス概論「健康とは何か？」(小西祥子)
- 4 月 16 日 人類生態学「生態学からみた健康」(梅崎昌裕)
- 4 月 23 日 人類遺伝学「ヒトの遺伝と情報解析」(藤本明洋)
- 4 月 30 日 発達医科学「ヒトの脳の発達と障害のメカニズムの解明をめざして」(田中輝幸)
- 5 月 7 日 生物医化学「感染症の制圧による世界中の人々の健康と幸福への貢献」(野崎智義)
- 5 月 21 日 国際保健政策学「温暖化と私たちの健康」(橋爪真弘)
- 5 月 28 日 精神保健学「心の健康のしくみ・心の健康を支えるしくみ」(西大輔)
- 6 月 4 日 疫学「この健康情報は信用できる?: 疫学を踏まえた情報の解釈」(松山裕)
- 6 月 11 日 医療経済学「高齢社会の未来は維持可能か」(橋本英樹)
- 6 月 18 日 生物統計学「人の集団を科学するための知の技術」(大庭幸治)
- 6 月 25 日 医療倫理学「命の終わり方を考える」(瀧本禎之)
- 7 月 2 日 健康教育学「生活習慣・行動変容を支援する科学」(鎌田真光)
- 7 月 9 日 生物人口学「妊娠しやすさの科学」+コースのまとめ「命と社会をめぐる諸科学とその統合」(小西祥子)

##### 【2022 年度】

- 4 月 8 日 ガイダンス+ヘルス・サイエンス概論「健康とは何か？」(小西祥子)
- 4 月 15 日 生物医化学「感染症の制圧による世界中の人々の健康と幸福への貢献」(野崎智義)
- 4 月 22 日 人類遺伝学「ヒトの遺伝と情報解析」(藤本明洋)
- 5 月 6 日 発達医科学「世界的な脅威、感染症と共存するには」(Moi Meng Ling)
- 5 月 20 日 人類生態学「生態学からみた健康」(梅崎昌裕)
- 5 月 27 日 国際保健政策学「温暖化と私たちの健康」(橋爪真弘)

- 5月30日 疫学「この健康情報は信用できる?: 疫学を踏まえた情報の解釈」(松山裕)
- 6月3日 発達医科学「ヒトの脳の発達と障害のメカニズムの解明をめざして」(田中輝幸)
- 6月10日 医療経済学「高齢化社会で医療制度は維持可能か?」(橋本英樹)
- 6月17日 医療倫理学「命の終わり方を考える」(中澤栄輔)
- 6月24日 生物統計学「人の集団を科学するための知の技術」(大庭幸治)
- 7月1日 社会疫学「生活習慣・行動変容を支援する科学」(鎌田真光)
- 7月8日 生物人口学「妊娠しやすさの科学」+コースのまとめ「命と社会をめぐる諸科学とその統合」(小西祥子)

#### 初年次ゼミナール理科

##### 【2021年度】

- 4月6日 ガイダンス (梅崎昌裕)
- 4月20日 共通授業 (ITC-LMSによるオンデマンド受講)
- 4月27日 COVID-19と少子化—出生の人口学入門 (小西祥子)
- 5月11日 //
- 5月18日 //
- 6月15日 腸内細菌叢を解析してみよう (高安伶奈)
- 6月22日 //
- 6月29日 //
- 7月6日 日本の将来人口を推計してみよう (梅崎昌裕)
- 7月13日 //

#### 生理学 (2年生・必修)

##### 【2021年度】

- 担当: 大木紫
- 10月8日 生理学の基礎、血液、呼吸
- 10月15日 循環、腎臓の機能
- 10月22日 消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
- 10月29日 内分泌、生殖、神経とシナプス
- 11月5日 筋収縮、神経系、感覚
- 11月12日 試験
- 11月19日 実習 (心電図、脳波等)

##### 【2022年度】

担当: 大木紫

- 10月7日 生理学の基礎、血液、呼吸
- 10月14日 循環、腎臓の機能
- 10月21日 消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
- 10月28日 内分泌、生殖、神経とシナプス
- 11月4日 筋収縮、神経系、感覚（※オンライン授業）
- 11月11日 試験
- 11月25日 実習（心電図、脳波等）

#### 環境と健康（2年生・必修）

##### 【2021年度】

- 12月2日 環境保健学の基礎1（小西祥子）
- 12月9日 環境保健学の基礎2（小西祥子）
- 12月16日 福島原発事故と健康（後藤あや・小西祥子）
- 12月23日 地球環境と健康（橋爪真弘）  
生態系サービスと健康（大久保悟）（※オンライン授業）
- 1月6日 水と健康（片山浩之）  
災害時の環境モニタリングと健康（中島大介）
- 1月13日 内分泌攪乱物質と健康（小西祥子）
- 1月20日 まとめと試験

##### 【2022年度】

- 12月1日 環境保健学の基礎（小西祥子）
- 12月8日 水と健康（片山浩之・小西祥子）
- 12月15日 生態系サービスと健康（大久保悟・小西祥子）
- 12月22日 地球環境と健康（橋爪真弘・小西祥子）
- 1月5日 化学物質の複合曝露と健康（中島大介・小西祥子）
- 1月12日 リスクコミュニケーション（後藤あや・小西祥子）
- 1月26日 まとめと試験

#### 薬理学・毒性学（2年生・必修）

##### 【2021年度】

- 11月30日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
- 12月7日 毒とは何か？どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
- 12月14日 薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
- 12月21日 薬物動態学の基礎（苅谷嘉頭）・薬物間相互作用（高田龍平）
- 1月4日 発達神経毒性・動物を用いた行動毒性試験（葩島旭）

- 1月11日 自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）  
中枢神経薬理学（上田泰己）
- 1月25日 医薬品の安全評価（小出大介）・試験

【2022年度】

- 11月29日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
- 12月6日 毒とは何か？どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
- 12月13日 薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
- 12月20日 薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）  
薬物間相互作用（高田龍平）
- 12月27日 発達神経毒性・動物を用いた行動毒性試験（薮島旭）
- 1月10日 自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）  
中枢神経薬理学（大出晃士）
- 1月24日 医薬品の安全評価（小出大介）・試験

人類生態学（3年生・必修）

【2021年度】

- 4月6日 人類生態学の考え方（梅崎昌裕）
- 4月13日 人口からみた人間（小西祥子）
- 4月20日 栄養と健康（梅崎昌裕）
- 5月27日 行動の生態学（梅崎昌裕）
- 5月11日 自然人類学の方法（米田穰【総合研究博物館】）  
文化の進化（井原泰雄【理学部生物学科】）
- 5月18日 人類生態学の研究  
パプアニューギニア高地人の低タンパク適応（梅崎昌裕）  
少子化と不妊の人類生態学（小西祥子）
- 5月25日 講義のまとめ（梅崎昌裕）・試験

【2022年度】

- 4月5日 人類生態学の考え方（梅崎昌裕）
- 4月19日 人口からみた人間（小西祥子）
- 4月26日 栄養と健康（梅崎昌裕）
- 5月10日 行動の生態学（梅崎昌裕）
- 5月17日 自然人類学の方法（米田穰【総合研究博物館】）  
文化の伝達と進化（井原泰雄【理学部生物学科】）
- 5月24日 人類生態学の研究（1）（梅崎昌裕）  
少子化と不妊の人類生態学（2）（小西祥子）

5月31日 講義のまとめ (梅崎昌裕)・試験

医療人類学 (3年生・選択)

【2021年度】

- 4月9日 身体観 (梅崎昌裕)
- 4月16日 文化相対主義 (梅崎昌裕)
- 4月23日 交換 (梅崎昌裕)
- 4月30日 宗教・病因論 (田所聖志・梅崎昌裕)
- 5月7日 食 (磯野真穂・梅崎昌裕)
- 5月21日 コロナ禍をリスク論で読み解く (卯田宗平・梅崎昌裕)
- 5月28日 尊厳 (梅崎昌裕)

【2022年度】

- 4月15日 身体観 (梅崎昌裕)
- 4月22日 文化相対主義 (梅崎昌裕)
- 5月6日 宗教・病因論 (田所聖志・梅崎昌裕)
- 5月20日 食 (磯野真穂・梅崎昌裕)
- 5月23日 リスク (卯田宗平・梅崎昌裕)
- 5月27日 交換 (田所聖志・梅崎昌裕)
- 5月30日 尊厳 (梅崎昌裕)

人口学 (3年生・選択)

【2021年度】

- 担当: 小西祥子
- 10月5日 「人口学」はヒトの数を数える学問である！？—人口統計学の基礎理論・人口の構造理論
- 10月12日 地球人口はどこまで増えるのか？—人口の成長理論
- 10月19日 「子ども数」はどのように決まるのか？—出生の理論・出生の生物人口学
- 10月26日 平均寿命の計算方法をマスターしよう！—死亡と生命表の理論
- 11月2日 「妊娠しやすさ」を科学する—出生の生物人口学【トピックス】
- 11月9日 人口学の超有名理論を理解しよう！—人口再生産理論・安定人口理論
- 11月16日 人類の未来を投影によって考える—人口推計・試験

【2022年度】

担当: 小西祥子

- 10月4日 人口分析の目的と戦略・人口分析に使うデータ
- 10月11日 人口構造の分析・小レポート1回目
- 10月18日 死亡の分析
- 10月25日 出生の分析・小テスト1回目
- 11月1日 結婚と離婚・小テスト2回目
- 11月8日 特別講義(移住、健康、家族、死亡)・小レポート2回目  
 Tod G Hamilton “Migration and Early 20th Century U.S. Mobility”  
 Arun S Hendi “Education Transitions and Inequalities in Life Expectancy”  
 Jessica Y Ho “Causes and Consequences of the American Drug Overdose Epidemic”  
 James Raymo “Who Married Whom? Spouse Pairing and Marriage Market Mismatches”
- 11月15日 人口推計とシミュレーション・試験

環境人間工学(4年生・選択)

【2021年度】

- 6月9日 都市のウォーカビリティ(樋野公宏)
- 6月16日 メッセージャーRNA 医薬のCOVID19ワクチンへの応用とその先(内田智士)
- 6月23日 モバイル心身医学の実現に向けて(吉内一浩)
- 6月30日 心豊かな生活環境実現に向けた生体情報センシング(割澤伸一)
- 7月7日 情報による行動変容促進に向けた人の心理・行動推定(荒川豊)
- 7月14日 サイバーフィジカルとロボティクス—みまもり工学への一歩—(森武俊)

【2022年度】

- 6月8日 メッセージャーRNAのワクチンと医薬品への応用(内田智士)
- 6月15日 心豊かな生活環境実現に向けた生体情報センシング(割澤伸一)
- 6月22日 JITAIを目指したモバイル行動医学(吉内一浩)
- 6月29日 サイバーフィジカルとロボティクス—みまもり工学への一歩—(森武俊)
- 7月6日 社会便益のための行動変容支援システムの実現に向けて(荒川豊)



7月13日 身体活動を促す都市計画・まちづくり (樋野公宏)

健康空間情報科学 (Health and Spatial Information Science)

【2021年度】 担当: 小坂理子

10月4日 基盤地図情報のダウンロードと地図化

10月11日 国勢調査データのダウンロードと地図化

10月18日 国土数値情報のダウンロードと地図化

10月25日 標準地域メッシュ統計のダウンロードと地図化

11月1日 空間データへの属性データの結合

11月8日 主題図の作成と発表

11月15日 //

【2022年度】 休講

学部実習

生命科学実習II (Laboratory Practice for Life Science II) (3年生・専修必修)

【2021年度】 担当: 高安伶奈

6月17日 コロナ自粛で大気は綺麗になったのか・コロナゲノムの多様性を可視化しよう

【2022年度】 担当: 高安伶奈

6月13日 コロナ自粛で大気は綺麗になったのか・コロナゲノムの多様性を可視化しよう

## 大学院講義

### 人類生態学特論 I (Special Lecture in Human Ecology I)

#### 【2021 年度】

- April 9           Orientation (Masahiro Umezaki)
- April 16          Anthropological Perspectives on Health and Disease  
(Masahiro Umezaki)
- April 23          Environmental Health and Human Ecology (Shoko  
Konishi)
- May 7            Human Energetics (Taro Yamauchi)
- May 14           Urban Health (Keiko Nakamura)
- May 21           Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro  
Umezaki)
- May 28           Case Studies of Human Ecology (Masahiro Umezaki,  
Shoko Konishi)

#### 【2022 年度】

- April 15          Anthropological Perspectives on Health and Disease  
(Masahiro Umezaki)
- April 22          Built Environment, Urban Design, and Public Health  
(Javad Koohsari)
- May 6            Environmental Health and Human Ecology (Shoko  
Konishi)
- May 13           Human Energetics (Taro Yamauchi)
- May 20           Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro  
Umezaki)
- May 27           Urban Health (Keiko Nakamura)
- June 3            Case Studies of Human Ecology (Masahiro Umezaki,  
Shoko Konishi)

### 人類生態学特論 II (Special Lecture in Human Ecology II)

#### 【2021 年度】

- October 6         Medical Anthropology and Global Health: Exploring the  
Complex Relationship between Culture, Society and  
Health/Illness, and Meeting Public Health Challenges in a  
Globalizing World (Ryoko Michinobu)

- October 13 Environmental Contaminants and Children's Health  
(Seiichiro Himeno)
- October 20 Role of Environmental Monitoring in the International  
Treaties, Stockholm Convention and Minamata  
Convention (Yasuyuki Shibata)
- October 28 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- November 10 Introduction to Science of Population and Life-cycle  
(Ryuichi Kaneko)
- November 17 Human-Chimpanzee Interfaces in the West African  
Landscape: Evolution, Zoonoses, and Conservation (Gen  
Yamakoshi)
- November 24 Gut Microbiota and Health (Lena Takayasu)

**【2022 年度】**

- October 12 Environmental Contaminants and Children's Health  
(Seiichiro Himeno)
- October 19 Role of Environmental Monitoring in the International  
Treaties, Stockholm Convention and Minamata  
Convention (Yasuyuki Shibata)
- October 26 Medical Anthropology and Global Health: Exploring the  
Complex Relationship between Culture, Society and  
Health/Illness, and Meeting Public Health Challenges in a  
Globalizing World (Ryoko Michinobu)
- October 27 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- November 2 Human-Chimpanzee Interfaces in the West African  
Landscape: Evolution, Zoonoses, and Conservation (Gen  
Yamakoshi)
- November 9 Introduction to Science of Population and Life-cycle  
(Ryuichi Kaneko)
- November 24 Gut Microbiota and Health (Lena Takayasu)

特別講義 (東京大学-プリンストン大学共同研究・教育プロジェクト)

COVID-19 and Population: Family, Fertility, Migration, Health, and Mortality  
(November 10, 2022)

Venue: Tetsumon Memorial Hall, 14th floor, Faculty of Medicine  
Experimental Research Building, Hongo Campus

Tod G Hamilton

International Migration, Immigrant Health, and Social Policies During  
the COVID-19 Pandemic

Arun S Hendi

COVID-19, Upheaval, and Social Transformation: Implications for Future  
Mortality Trends

Jessica Y Ho

Health Impacts of the COVID-19 Pandemic

Hisashi Inaba

COVID-19 and Mathematical Models

Shoko Konishi

The COVID-19 Pandemic and Childbearing

James Raymo

The COVID-19 Pandemic and the Family: Marriage, Spouses' Division of  
Labor, Marital Quality, and Divorce

Demography Special Lecture (November 11, 2022)

Venue: Medical Building No.3 S102

Tod G Hamilton

Race, Nativity, and U.S Health and Mortality Disparities

Arun S Hendi

Where Does the American Black-White Life Expectancy Gap Come  
From? The Deadly Consequences of Residential Segregation

Jessica Y Ho

Causes of America's Lagging Life Expectancy: An International  
Comparative Perspective

James Raymo

Family Demography and the Reproduction of Inequality

## 卒業論文

### 【2021 年度】

該当なし

### 【2022 年度】

那賀裕朗

日本の農村地域の住民の Cd 曝露と血圧の関連—石川県珠洲市における研究—

松田茉歩

女子大学生および 20 代女性のボディイメージと食行動との関連における文献レビュー

水野なみ

腸内細菌叢の解析を目的としたフィールドでの糞便サンプリングプロトコールについてのレビュー研究

Tatsuya Aiko

Green View Index as a neighborhood environment: an association with self-rated health among older people in Noto peninsula, Japan

植田渉希

飲酒習慣と栄養素摂取パターンの関連とその性差および地域差の検討

木村光洋

日本人男性の「付き合う関係」に関する探索的調査

宮下文輝

スギ花粉症有病割合における地域差の要因

森千香代

離島住民の食料入手環境と食品および栄養摂取の特徴

## 修士論文

### 【2021 年度】

Ami Takubo

Fear of childbirth among women who had never given birth: A narrative review

Sae Sekiya

Prevalence of asymptomatic infections with enteric pathogens and the association with gut microbiome in rural residents of Northern Laos

永井祐貴

メタゲノム解析が明らかにする集団特異的な腸内細菌の進化

濱崎貴介

指標アミノ酸酸化法による日本人アスリートのタンパク質必要量の推定

Liow Yi Jia

Hedonic eating behavior influenced by high-fiber diet via gut microbiota

Cindy Rahman Aisyah

Association of urinary cadmium and selenium concentrations with sperm mitochondrial DNA copy number

**【2022 年度】**

Zhang, Zhuren

Interindividual variation in hs-CRP among the indigenous people in Northern Laos

Momoka Masuda

Difference in diet and health status between patterns of social relationships among residents of the Ojika islands, a remote island community in Japan: an exploratory study

Hiroshi Yamashita

Association between neighborhood food environments and dietary intake among older people in Suzu city, Japan

Li, Ziyang

Impact of market integration on diet of rural residents in northern Laos: Investigation of scalp hair carbon and nitrogen isotope ratios

Aghnia Husnayiani Suryanto

Thyroid Function and Menstrual Cycle Characteristics in Japanese Women Aged 19–21 Years

博士論文

**【2021 年度】**

Yuki Mizuno

Oxidative stress in indigenous populations under modernization: Investigation of the determinants and the consequences in Northern Laos

**【2022 年度】**

該当なし

## 研究業績 (2021 年・2022 年)

### 原著論文

#### **【2021 年】**

- Konishi, S., Kariya, F., Hamasaki, K., Takayasu, L., & Ohtsuki, H. (2021). Fecundability and sterility by age: Estimates using time to pregnancy data of Japanese couples trying to conceive their first child with and without fertility treatment. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 18(10), 5486. doi: 10.3390/ijerph18105486.
- Kosaka, S., Nakao, R., Ohnishi, M., & Umezaki, M. (2021). The proportion of older population in Nagasaki, Japan, is higher in areas with poor walkability and accessibility. *Japanese Journal of Health and Human Ecology*, 87(5), 237–245. doi: 10.3861/kenko.87.5\_237.
- Mizuno, Y., Hur, K., & Umezaki, M. (2021). Assessment of intra- and inter-assay variation in dried blood spot telomere length measurements by qPCR. *Anthropological Science*, 129(1), 99–102. doi: 10.1537/ase.2011301.
- Mizuno, Y., Konishi, S., Goto, C., Yoshinaga, J., Hidaka, M., & Imai, H. (2021). Association between nutrient intake and telomere length in Japanese female university students. *Biomarkers*, 26(2), 138–145. doi: 10.1080/1354750x.2020.1871409.
- Mizuno, Y., Konishi, S., Imai, H., Fujimori, E., Kojima, N., Kajiwara, C., & Yoshinaga, J. (2021). Telomere length and urinary 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine and essential trace element concentrations in female Japanese university students. *Journal of Environmental Science and Health, Part A*, 56(12), 1328–1334. doi: 10.1080/10934529.2021.1991741.
- Mizuno, Y., Shimizu-Furusawa, H., Konishi, S., Inaoka, T., Ahmad, S. A., Sekiyama, M., … & Umezaki, M. (2021). Associations between urinary heavy metal concentrations and blood pressure in residents of Asian countries. *Environmental Health and Preventive Medicine*, 26(1), 101. doi: 10.1186/s12199-021-01027-y.

#### **【2022 年】**

- Cariño III, R., Takayasu, L., Suda, W., Masuoka, H., Hirayama, K., Konishi, S., & Umezaki, M. (2022). The search for aliens within us: a review of evidence and theory regarding the foetal microbiome. *Critical Reviews in Microbiology*, 48(5), 611–623. doi: 10.1080/1040841x.2021.1999903.

- Furuhashi, H., Takayasu, L., Isshi, K., Hara, Y., Ono, S., Kato, M., ... & Suda, W. (2022). Effect of storage temperature and flash-freezing on salivary microbiota profiles based on 16S rRNA – targeted sequencing. *European Journal of Oral Sciences*, 130(2), e12852. doi: 10.1111/eos.12852.
- Kibe, M., Tomita, S., & Umezaki, M. (2022). Divergence in nutritional intake and physical activity patterns among households in a village of ethnic minorities in northern Laos at the initial stage of health transition. *Human Ecology*, 50(2), 287–305. doi: 10.1007/s10745-022-00310-y.
- Konishi, S., & Mizuno, Y. (2022). Pre-Conceptional Anti-Thyroid Antibodies and Thyroid Function in Association with Natural Conception Rates. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19(20), 13177. doi: 10.3390/ijerph192013177.
- Konishi, S., Moriki, Y., Kariya, F., & Akagawa, M. (2022). Casual sex and sexlessness in Japan: a cross-sectional study. *Sexes*, 3(2), 254–266. doi: 10.3390/sexes3020020.
- Konishi, S., Umezaki, M., & Suzuki, S. (2022). Perceived health, fertility, and social network of middle-aged and older women in Japan. *Japanese Journal of Health and Human Ecology*, 88(1), 15–22. doi: 10.3861/kenko.88.1\_15.
- Kosaka, S., Nakao, R., Goto, C., Umezaki, M., & Ohnishi, M. (2022). Food store accessibility affects nutritional intake through shopping frequency and food intake in middle-aged to older adults in rural Nagasaki, Japan. *American Journal of Human Biology*, 34(6), e23725. doi: 10.1002/ajhb.23725.
- Masuda, M., Natsuhara, K., Sueyoshi, S., Odani, S., Yagyu, F., Tadokoro, K., ... & Umezaki, M. (2022). Association between the dietary inflammatory index and disability in Japanese older people. *Public Health Nutrition*, 25(11), 3137–3145. doi: 10.1017/s1368980022001604.
- Mizuno, Y., Masuoka, H., Kibe, M., Kosaka, S., Natsuhara, K., Hirayama, K., ... & Umezaki, M. (2022). Impact of modernization on urinary concentrations of arsenic, cadmium, lead, and selenium in rural residents of Northern Laos. *American Journal of Human Biology*, 34(4), e23685. doi: 10.1002/ajhb.23685.
- Ohnishi, M., Nakao, R., Kawasaki, R., Tanaka, J., Kosaka, S., & Umezaki, M. (2023). Factors associated with failure to undergo health check-ups in Nagasaki Prefecture, Japan. *Journal of Rural Medicine*, 18(1), 28–35. doi: 10.2185/jrm.2022-046.

## 単行本

【2021 年】



- 井原泰雄, 梅崎昌裕, 米田穰 (編著) (2021). 『人間の本质にせまる科学: 自然人類学の挑戦』 東京大学出版会.
- 梅崎昌裕 (2021). 「意図せざるドメスティケーション—人間と細菌のかかわりを手がかりに」 卯田宗平 (編) 『野生性と人類の論理: ポスト・ドメスティケーションを捉える4つの思考』 東京大学出版会, 270–283.
- 梅崎昌裕 (2021). 「サツマイモ」 野林厚志 (編集委員長) 『世界の食文化百科事典』 丸善出版, 54–55.
- 梅崎昌裕 (2021). 「食の科学」 野林厚志 (編集委員長) 『世界の食文化百科事典』 丸善出版, 330–333.
- 梅崎昌裕 (2021). 「パレオダイエット」 野林厚志 (編集委員長) 『世界の食文化百科事典』 丸善出版, 356–357.
- 梅崎昌裕 (2021). 「人間の栄養適応: 腸内細菌はどう寄与したか」 池谷和信 (編) 『食の文明論: ホモ・サピエンス史から探る』 農文協, 328–347.
- 梅崎昌裕, 鈴木庄亮 (2021). 「化学的環境要因」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2021』 南江堂, 163–166.
- 梅崎昌裕・鈴木庄亮 (2021). 「人間の環境」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2021』 南江堂, 139–149.
- 小西祥子 (2021). 「食と寿命」 野林厚志 (編集委員長) 『世界の食文化百科事典』 丸善出版, 344–345.
- 小西祥子 (2021). 「肥満」 野林厚志 (編集委員長) 『世界の食文化百科事典』 丸善出版, 342–343.
- 鈴木庄亮, 梅崎昌裕 (2021). 「水の衛生と水質汚濁」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2021』 南江堂, 183–192.
- 鈴木庄亮, 小西祥子 (2021). 「気圧」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2021』 南江堂, 162–163.
- 鈴木庄亮, 小西祥子 (2021). 「気温, 湿度, 気流, 輻射熱」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2021』 南江堂, 155–157.

#### 【2022年】

- 梅崎昌裕 (2022). 「化学的環境要因」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2022』 南江堂, 162–166.
- 梅崎昌裕 (2022). 「人口問題」 福士謙介 (編) 『地球の危機図鑑～滅亡させないために知っておきたい12のこと～』 学研プラス, 76–83.
- 梅崎昌裕 (2022). 「人間の環境」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2022』 南江堂, 139–149.
- 梅崎昌裕 (2022). 「水の衛生と水質汚濁」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2022』 南江堂, 183–192.

- 小西祥子 (2022). 「気圧」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2022』 南江堂, 161-162.
- 小西祥子 (2022). 「気温, 湿度, 気流, 輻射熱」 小山洋 (監) 辻一郎, 上島通浩 (編) 『シンプル衛生公衆衛生学 2022』 南江堂, 153-156.

## 総説・資料・他

### 【2021 年】

- 梅崎昌裕 (2021). 労働ストレスの人類史的起源. 産業ストレス研究, 28(4), 363-370.

### 【2022 年】

- 小坂理子, 梅崎昌裕 (2022). 「自然と人間の持続的な関係」 中村丁次・村山伸子 (企画) 『臨床栄養: SDGs と栄養・食』 医歯薬出版, 臨時増刊号 140(6), 818-822.
- 中尾理恵子, 大西眞由美, 増田桃佳, 梅崎昌裕 (2022). 長崎県内の 3 地域における住民の食生活の特徴—食生活に関わるキーインフォーマントインタビューから—. 保健学研究, 35, 29-36.

## 学会発表

### 【2021 年】

- 梅崎昌裕. パプアニューギニア高地人の低タンパク適応 (基調講演). 第 54 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会, 2021 年 1 月 21-22 日, 東京 (オンライン).
- 小西祥子, 森木美恵, 仮屋ふみ子, 赤川学. 既婚男性の SNS およびマッチングアプリの使用と性行動. 第 91 回日本衛生学会総会, 2021 年 3 月 6-8 日, 富山 (オンライン).
- 水野佑紀, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 稲葉洋平, 夏原和美, 平山和宏, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部住民の重金属曝露と酸化ストレスとの関連. 第 91 回日本衛生学会総会, 2021 年 3 月 6-8 日, 富山 (オンライン).
- 高安伶奈. 細菌学とマイクロバイーム研究 (招待講演). 第 94 回日本細菌学会. 2021 年 3 月 23 日 (オンライン).
- 赤川学, 小西祥子, 仮屋ふみ子, 森木美恵. 日本人の性行動の経時的変化. 第 73 回日本人口学会, 2021 年 6 月 5-6 日, 東京 (オンライン).

- 小西祥子, 山崎一恭, 猪鼻達仁, 内田将央, 仮屋ふみ子, 岩本晃明. 男性の生殖機能と内分泌かく乱物質曝露との関連. 第 73 回日本人口学会, 2021 年 6 月 5-6 日, 東京 (オンライン).
- 森木美恵, 小西祥子, 赤川学, 仮屋ふみ子. 男性の性行動と文化的な不妊について. 第 73 回日本人口学会, 2021 年 6 月 5-6 日, 東京 (オンライン).
- Masuoka, H., Mizuno, Y., Kibe, M., Takayasu, L., Kosaka, S., Natsuhara, K., Inthavong, N., Kounnavong, S., Tomita, S., Hirayama, K., Suda, W., Umezaki, M. Characteristics Of Gut Microbiome Of Mountain People In Northern Laos. The 8<sup>th</sup> Congress of the International Human Microbiome Consortium, June 27-29, 2021, Barcelona, Spain (online).
- 梅崎昌裕. 生物人類学における人口研究の現在. 第 73 回日本人口学会研究大会, 2021 年 8 月 5 日, 東京 (オンライン).
- Hur, K., Konishi, S., Kishikawa, R., Umezaki, M., Hashizume, M., Kim, Y. The modifying effect of pollen on the association between particulate matter and respiratory mortality: a multi-city analysis in Kyushu, Japan. The 33rd Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology (ISEE 2021), August 23-26, 2021, New York City, US (online, poster).
- Mizuno, Y., Masuoka, H., Kibe, M., Kosaka, S., Inaba, Y., Natsuhara, K., Hirayama, K., Inthavong, N., Kounnavong, S., Tomita, S., Umezaki, M. Associations between arsenic, cadmium, and selenium exposure and oxidative stress in rural residents of northern Laos. The 33<sup>rd</sup> Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology (ISEE 2021), August 23-26, 2021, New York City, US (online, e-poster presentation).
- 梅崎昌裕. 指標アミノ酸酸化 (IAAO) 法を用いた低たんぱく適応の研究. JASIS 2021 ウェブコンファレンス, 2021 年 11 月 8-10 日, 千葉 (オンライン).
- 内田将央, 山崎一恭, 猪鼻達仁, 仮屋ふみ子, 岩本晃明, 小西祥子. 男性不妊患者の第二指・第四指の長さ比 (2D:4D) と生殖機能との関連性についての検討. 第 66 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2021 年 11 月 11-12 日, 鳥取.
- 小西祥子, 森木美恵, 仮屋ふみ子, 赤川学. 日本人男性の性行動—全国 4,000 名を対象としたインターネット調査より—. 第 86 回日本健康学会, 2021 年 11 月 13 日, 兵庫 (オンライン).
- Yamasaki, K., Iwamoto, T., Uchida, M., Ihana, T., Kariya, F., Konishi, S. Does the index finger to ring finger ratio (2D:4D) affect sexual functionality in male Japanese infertile patients? The 22nd World Meeting on Sexual Medicine (WMSM 2021), November 19-21, 2021, Yokohama (online).
- Umezaki, M. Biomarkers of health transition: A human ecology studies among ethnic minorities in Northern Laos. Joint International Symposium

(Institute of Nature and Environmental Technology, Kanazawa University),  
November 30–December 3, 2021, Kanazawa (online).

【2022 年】

- 梅崎昌裕. 生態人類学の到達点—コロナ後のさらなる飛躍に向けて (シンポジウム, コメンテーター). 第 27 回生態人類学会研究大会, 2022 年 3 月 15–16 日, 滋賀.
- 木部未帆子. ラオス北部住民の市場経済化とアロスタティック負荷との関連: 尿中コルチゾール濃度の村落間比較. 第 27 回生態人類学会研究大会, 2022 年 3 月 15–16 日, 滋賀.
- Aisyah, C. R., Mizuno, Y., Masuda, M., Iwamoto, T., Yamasaki, K., Uchida, M., Ihana, T., Kariya, F., Konishi, S. Relationship between smoking status, cadmium exposure, and sperm mitochondrial DNA copy number: The IITEF project. The 92nd Annual Meeting of the Japanese Society for Hygiene, March 21–23, 2022, Hyogo (online).
- 小西祥子, 森木美恵, 赤川学, 山崎一恭, 内田将央, 猪鼻達仁, 水野佑紀, シンディ・ラーマン・アイシャー, 増田桃佳, 仮屋ふみ子, 岩本晃明. 技術・環境・妊孕力に関する学際研究 (IITEF) プロジェクト. 第 92 回日本衛生学会学術総会, 2022 年 3 月 21–23 日, 兵庫 (オンライン).
- 増田桃佳, 水野佑紀, 後藤千穂, 吉永淳, 小西祥子, 梅崎昌裕, 今井秀樹. 日本の女子大生における食事性炎症指数とテロメア長の関連. 第 92 回日本衛生学会学術総会, 2022 年 3 月 21–23 日, 兵庫 (オンライン).
- 増田桃佳, 水野佑紀, シンディ・ラーマン・アイシャー, 岩本晃明, 山崎一恭, 内田将央, 猪鼻達仁, 仮屋ふみ子, 小西祥子. 精子ミトコンドリア DNA コピー数と精液所見の関連: IITEF プロジェクト. 第 92 回日本衛生学会学術総会, 2022 年 3 月 21–23 日, 兵庫 (オンライン).
- 水野佑紀, 稲葉洋平, 増岡弘晃, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, 富田晋介, 梅崎昌裕. ラオス北部住民の酸化ストレスと微量元素曝露および食生活との関連. 第 92 回日本衛生学会学術総会, 2022 年 3 月 21–23 日, 兵庫 (オンライン).
- 水野佑紀, 増田桃佳, Cindy Rahman Aisyah, 岩本晃明, 山崎一恭, 内田将央, 猪鼻達仁, 仮屋ふみ子, 小西祥子. フタル酸エステル類曝露と精液所見および精子ミトコンドリア DNA コピー数との関連: IITEF プロジェクト. 第 92 回日本衛生学会学術総会, 2022 年 3 月 21–23 日, 兵庫 (オンライン).
- 小西祥子, 森木美恵, 仮屋ふみ子, 赤川学. 日本における学歴と性行動. 第 74 回日本人口学会大会, 2022 年 6 月 11–12 日, 神戸.

- 関家紗愛, 増岡弘晃, 高安伶奈, 柳生文宏, 水野佑紀, 木部未帆子, 小坂理子, 夏原和美, 平山和宏, Inthavong Nouhak, Kounnavong Sengchanh, 富田晋介, 須田亙, 梅崎昌裕. ラオス北部における腸管病原体の不顕性感染と腸内細菌叢との関連. 第21回東京大学生命科学シンポジウム, 2022年6月17-18日, 東京大学(オンライン, ポスター).  
小西祥子, 森木美恵, 赤川学. ウェブ・パネルの学術利用に関する考察. 第87回日本健康学会大会, 2022年11月3-4日, 東京.

## 受賞

### 【2021年】

該当なし

### 【2022年】

該当なし

## 競争的資金の獲得

### 【2021年度から2022年度に新たに獲得したもの】

- 2021-2025年度. 科学研究費補助金・国際共同研究強化(B). 研究課題番号: 21KK0165「胎児期の重金属暴露が子どもの神経発達に与える影響: ネパールでの出生コホート研究」(代表者: 梅崎昌裕)
- 2021-2024年度. 科学研究費補助金・基盤研究(B). 研究課題番号: 21H03684「ジェネラリストとスペシャリストが織りなす東南アジア大陸山地部: 農業生産性を越えて」(代表者: 富田晋介; 分担者: 梅崎昌裕)
- 2021-2022年度. 科学研究費補助金・挑戦的研究(萌芽). 研究課題番号: 21K19289「糞石ゲノム解析による縄文人の栄養・衛生・健康状態のマルチプロファイリング」(代表者: 太田博樹; 分担者: 梅崎昌裕)
- 2021年度. 科学研究費補助金・特別研究員奨励費. 研究課題番号: 21J12785「ラオス北部の近代化と酸化ストレスとの関連: 腸内細菌による修飾作用の検討」(代表者: 水野佑紀)
- 2021-2022年度. 科学研究費補助金・特別研究員奨励費. 研究課題番号: 21J12835「ラオス北部の少数民族における性的分業と肥満の男女間差」(代表者: 木部未帆子)
- 2021-2022年度. 住友財団環境研究助成. 「複合的な環境要因が妊孕力に及ぼす影響: 疫学研究およびモデルに基づく評価」(代表者: 小西祥子)
- 2021-2022年度. 公益財団法人発酵研究所(若手研究者助成). 「マウス腸内細菌におけるゲノム進化速度の解明」(代表者: 高安伶奈)

- 2021–2022 年度. 食の文化研究助成事業. 「忌避される味の嗜好—なぜラオス山岳部の少数民族集団は野生植物を食べるのか—」(代表者: 木部未帆子)
- 2022–2024 年度. 科学研究費補助金・基盤研究 (C). 研究課題番号: 22K10484 「パラベン類が男女の生殖機能に及ぼす影響」(代表者: 小西祥子)
- 2022–2023 年度. 科学研究費補助金・研究活動スタート支援. 研究課題番号: 22K21108 「ラオス北部住民の化学物質複合曝露と酸化ストレス: 腸内細菌による修飾作用の検討」(代表者: 水野佑紀)
- 2022–2024 年度. 東京大学–プリンストン大学共同研究・教育プロジェクト. 「Demography Lecture Series」(代表者: 小西祥子)
- 2022–2024 年度. 文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」東京大学博士フェローシッププログラム「知能社会創造フェローシップ」(Cindy Rahman Aisyah)
- 2022 年度. 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)・次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)「グリーントランスフォーメーション (GX) を先導する高度人材育成」プロジェクト (SPRING GX) (関家紗愛)
- 2022 年度. 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)・次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)「グリーントランスフォーメーション (GX) を先導する高度人材育成」プロジェクト (SPRING GX) (Liow Yi Jia)

## 教室員一覧 (2021 年度・2022 年度)

### 名誉教授

鈴木 継美	(2008 年 5 月ご逝去)
大塚 柳太郎	(2022 年 12 月ご逝去)
渡辺 知保	

### 教授

梅崎 昌裕

### 准教授

小西 祥子

### 助教

小坂 理子	(~2022 年 3 月、2022 年 4 月~長崎大学准教授)
高安 伶奈	(~2023 年 3 月)
水野 佑紀	(2022 年 4 月~)

### サポートスタッフ

大和田 昌代	(~2023 年 3 月)
仮屋 ふみ子	

### 博士課程大学院生

水野 佑紀	(~2022 年 3 月)
Maricor Carmela Amoguis leiri	
Richard Flores Cariño III	(~2023 年 3 月)
木部 未帆子	(同上)
Novee Lor Cabra Leyso	
関家 紗愛	(2022 年 4 月~)
Cindy Rahman Aisyah	(同上)
Liow Yi Jia (廖 翊嘉, Claire)	(同上)

### 修士課程大学院生

増田 桃佳	(2021 年 4 月~2023 年 3 月)
山下 大志	(同上)
Aghnia Husnayiani	(同上)
Li, Ziyang (李 子陽)	(同上)
Zhang, Zhuren (張 主人)	(同上)

Joanna Noack

(2022年4月～)

学部学生 (卒業論文)

愛甲 達也	(2022年4月～2023年3月)
植田 渉希	(同上)
木村 光洋	(同上)
那賀 裕朗	(同上)
松田 茉歩	(同上)
水野 なみ	(同上)
宮下 丈輝	(同上)
森 千香代	(同上)

客員研究員

須田 一弘	
野林 厚志	
夏原 和美	
富田 晋介	
田所 聖志	
稲葉 洋平	(～2022年3月)
斎藤 佳絵	
森木 美恵	
須田 互	
Kyi Mar Wai	
大西 真由美	
中尾 理恵子	
増岡 弘晃	(2021年4月～)

非常勤講師

Mohammadjavad Koohsari

山内 太郎
中村 桂子
金子 隆一
柴田 康行
是川 夕
道信 良子
姫野 誠一郎
後藤 あや
大久保 悟



荒川 豊  
大木 紫  
齋島 旭